6．手術患者における静脈血栓塞栓症の予防行為実施率

算式

$$\frac{\text{【分子】 ガイドラインに沿った静脈血栓症の予防行為を行った患者数（肺血栓塞栓症予防管理料算定件数（患者数））}}{\text{【分母】 手術を受けた退院患者数}}$$

※分母除外項目
1．麻酔時間が45分未満の手術
2．局所麻酔のみの手術
3．同一入院中に2回以上手術

定義

手術を受けた入院患者のうち「肺血栓症及び深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン」に沿った予防行為が実施された件数の割合

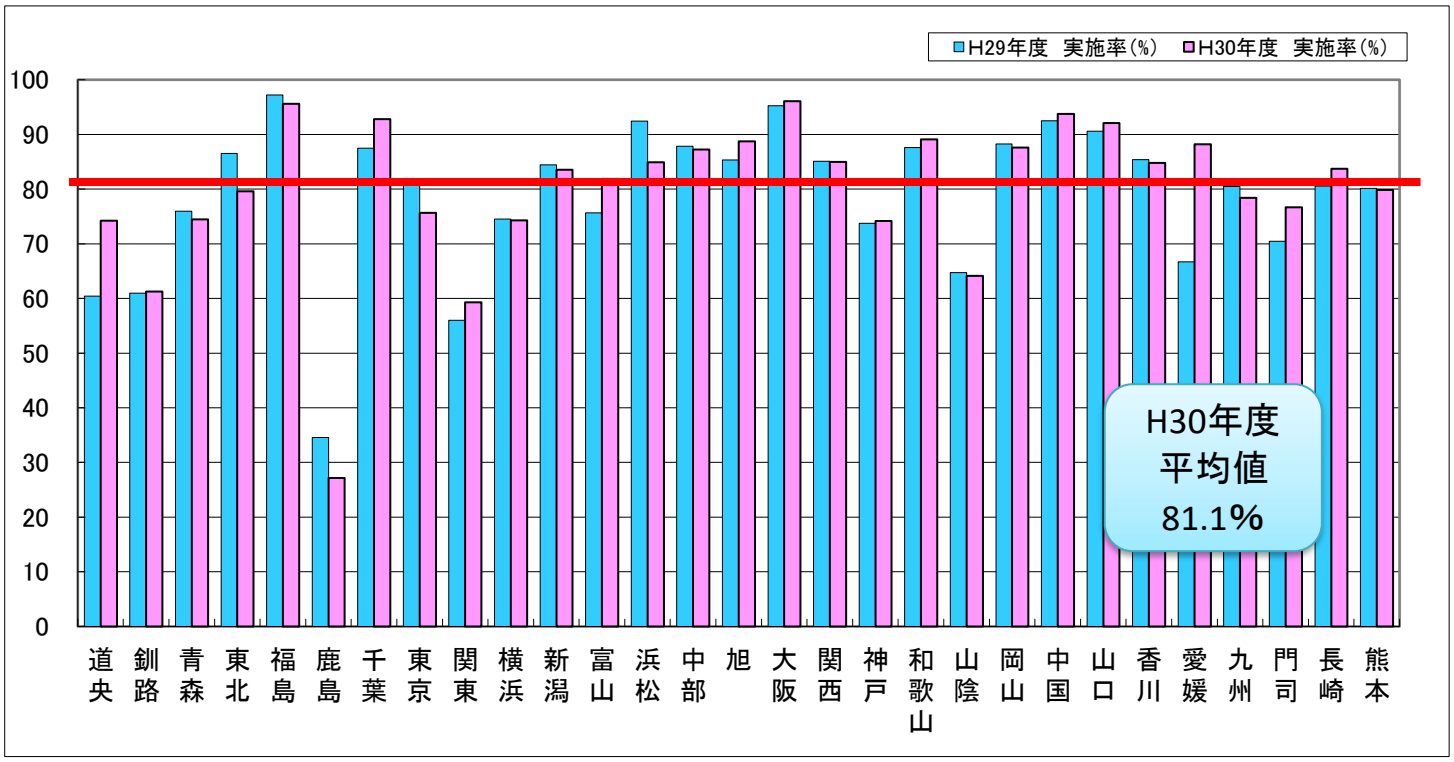
指標の解説

ＤＰＣデータより抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、肺血栓症及び深部静脈血栓症の発生予防に対する取組について「肺血栓症及び深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン」に沿った予防行為の実施割合から評価する。

実施率が高い場合には、肺血栓症及び深部静脈血栓症の発生率の低下に積極的に取り組んでいると評価できる。

6．手術患者における静脈血栓塞栓症の予防行為実施率



		H29年度			H30年度		
No	施設名	分母	分子	実施率(%)	分母	分子	実施率(%)
1	道央	374	226	60.4	388	288	74.2
2	釧路	1,530	933	61.0	1,639	1,004	61.3
3	青森	920	699	76.0	1,050	782	74.5
4	東北	2,698	2,334	86.5	2,842	2,262	79.6
5	福島	750	729	97.2	678	648	95.6
6	鹿島	220	76	34.5	140	38	27.1
7	千葉	2,519	2,203	87.5	2,520	2,339	92.8
8	東京	1,452	1,188	81.8	1,512	1,144	75.7
9	関東	4,223	2,365	56.0	4,198	2,490	59.3
10	横浜	4,113	3,064	74.5	4,206	3,124	74.3
11	新潟	706	596	84.4	723	604	83.5
12	富山	785	594	75.7	771	631	81.8
13	浜松	897	829	92.4	875	743	84.9
14	中部	2,012	1,767	87.8	2,033	1,773	87.2
15	旭	797	680	85.3	720	639	88.8
16	大阪	4,053	3,861	95.3	4,242	4,076	96.1
17	関西	4,270	3,632	85.1	4,171	3,543	84.9
18	神戸	1,340	988	73.7	1,200	890	74.2
19	和歌山	1,990	1,743	87.6	2,043	1,820	89.1
20	山陰	1,638	1,060	64.7	1,665	1,068	64.1
21	岡山	1,980	1,747	88.2	1,931	1,691	87.6
22	中国	2,094	1,937	92.5	2,092	1,961	93.7
23	山口	1,447	1,311	90.6	1,335	1,229	92.1
24	香川	2,502	2,136	85.4	2,153	1,825	84.8
25	愛媛	661	441	66.7	627	553	88.2
26	九州	2,631	2,117	80.5	2,895	2,270	78.4
27	門司	403	284	70.5	420	322	76.7
28	長崎	2,291	1,845	80.5	2,288	1,915	83.7
29	熊本	2,339	1,874	80.1	2,368	1,891	79.9
合計		53,635	43,259	80.7	53,725	43,563	81.1
平均	500床以上	3,562	2,837	79.7	3,615	2,878	79.6
	400床以上	2,091	1,698	81.2	2,110	1,683	79.7
	300床以上	1,505	1,250	83.0	1,531	1,297	84.8
	300床未満	583	429	73.6	581	461	79.3